

夜間学校ニュース

1988年5月20日
西成区萩之茶屋2-8-9
旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中國人の
指紋押なつ拒否断固支持!

定住外国人に市民権を!

仲間の死

本籍：住所不詳、氏名自
称松本善一郎、年齢65歳
の男、身長153センチ、セ
シ型、着衣ラフダシャツ、
パンツ、パンツ、遺留金品

現金七万三千二百七十円、
腕時計、指輪スケ

右の者は、昭和61年五月
5日前後7時ごろ萩之茶屋
スーパー8簡易宿泊所十五

三階1A10号室にて発見

されたもので、同月三日午

前7時ごろ（推定）同所に
おいて肺結核により死亡し

たものと思われる。

毎週金曜日
夜七時より
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

みんなでつくろう
みんなの会館
三人よれば何とかの知恵

夏：梅雨さある

五月病は：ママ
あんまり
関係ないか：

朝晩はまだ涼しいが、昨

日はとどこり直夏、30.4度

にもなった。これは例年より二日早く、気温の開設以

来五番目の急騰ださうだ。
マア、暑い寒いといつて

毎日はまとめて降って、晴

日の日が多い方が有難い。

ギャンブルには縁がない

たりがり、昔から昔へのギ

ヤンブル人生になりがちな
のはなかろうか。

もつともギャンブルとい
うのは、とうう、とううと
して追いかけるのがいいの

うして、とうしてしまふと
どうしようもない、と、や

つあつて、とつてしまふと
どうしようもない、と、や

うううううううううううう
うううううううううううう

みても、一時は天然自然の
ことで、なんとも仕様のな

いことなのだが、我々の都

合だけでいえば、できみた

け涼しい日が多いう方が有難

いし、梅雨もできみだけ降
くと、たりがりは夢を追

梅雨がもうすぐ、やめて……や

五月の連休明けから、金のことを取りあげた新聞記事がいくつか目にきます。日本銀行が労働福祉センターに職員を派遣して求人情報を調査したり、金の中での貧富の差が大きってきたとか……現に金の中で金をかたるとすればどうなのでしょうか。

「ヨーロッパ値下げからしい」

「例のドライ戦争とかで、アサ

ヒガキリンに追いついためかじ

「アサヒが下げるんやつたら、他も一緒に下げてくれたなら」

「セカナビ、下げるんは一番安い

「金ではない出の五百円入りや、金ではよう売れてんのんとちやうか・仕事が終つてちよつと

いう時、シキュラーダーの足りんし、ジンはめんどうといふ時にええで」

「それでも、金は他より販売機の酒場で」

「それも、他へつて安づのを

「明暗ははつきりする」

「西成署の防犯コーナーがだ

てる口あいりん白書でも住ん

でいるところというのに、今ま

ではドヤとか日松アパートとか

「うのんしかなかつたけど、最

近はマンションという項目がで

きた・ドヤもテラックスになつ

てきたし、全体として生活ほど

うなつてゐるかや」

「金儲かりせんといかん

「耳をとつたといふこともある

で、まあつもあくまづ力せん

「耳をとつたといふこともある

「仕事も例年よりマジとは

「仕事も例年よりマジとは

「仕事にいってる人はそれにし

がみつから、そこそこやけど

アブレが続けてる人はますとそ

から

「うち市民に近づいていたと

「それでも、新聞に出て出て

るけど、アボイをつかまえた

「所持金三万円とか、このほけ

「こうあるで」

「新聞に出てる数の話はさう

うことがあると困ります」

「こういう記事の特徴にあるのが

「例の『あいりんのぶ母ちゃん』

というのやな・西成署にも、

「労セセンター」で、こうなんとこ

にかかるがね」

「いつも変わらぬターンセキ」

「あいりんのぶ母ちゃん」

「金の労働者にはヨリおおらかん

「金に付する見方の一つかな」

「これが、まあ新聞の記事をか

いた記者といふか、マスコミの

「それも、他へつて安づのを